

テーマ	課題と関連する地元説明会及び地元代表協議会委員から提出された主な意見や要望等	教育委員会の考え方、対応			
		「千葉県学校適正配置実施方針」に明記した考え方や対応 ※対応する部分を抜粋	その他		
1 学校適正配置の必要性	①適正配置の趣旨	<p>学校の統廃合で、いじめや不登校は防げるのかなど、不安はある。慎重に検討してほしい。</p> <p>学校適正配置のメリットばかり述べているが、デメリットをどう解決していくのか、今後の議論をオープンにしてほしい。</p> <p>児童数が少ないのはいつも感じている。でも、近隣の学校の様子を聞くと、数だけで一緒にしようとしていることに不安が残る。参観日や行事で足を運ぶと、毎年変わらないクラスだが、子どもたちは落ち着いていてよいと思える。</p> <p>適正配置により、子どもたちの教育環境の向上がなければ意味がない。</p> <p>まず、財政面から説明する必要がある。限られた予算をいかにして納得性の高い形で使うかを説明すべきであり、この議論抜きでは真の納得は得られないと考える。その際、削減した予算を教育以外に使用するのであれば、その点は特に十分説明してほしい。</p>	<p>【実施方針策定の趣旨】 子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目的とした学校適正配置を推進するため、実施方針を策定する。</p>	<p>「学校規模を適正化する効果」については、次のように考えています。</p> <p>○大きな集団での学習活動と小グループでの学習活動が展開でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導が行えること。</p> <p>○子どもたちが豊かな人間関係を通して、社会性を身につけていくことができること。</p> <p>○より充実した教員配置を行うことができ、教員同士が互いに切磋琢磨できること。</p> <p>※別紙資料「学校の適正規模について」を参照。</p>	
	②適正配置に係る教育環境整備	<p>1学年1学級で、小学校6年間ずっと一緒というのもおかしいが、1学級あたりの児童生徒数が増えたり大規模校になったりしたら、指導がたいへんになるのではないかな。</p> <p>子ども達のより良い教育環境づくりには、教員の増と質の向上が必要であるが、学級数が増えても教員数は減ることにならないかな。</p> <p>中学校統合による生徒数の増加により、子どもたち同士の連帯感が希薄になることや、先生が生徒を把握するのが難しくなるのではないかな。</p>	<p>【統合に伴う教育環境整備】 統合に伴う環境変化等に対応するとともに、きめ細かな指導を行うため、教員の増置及びスクールカウンセラーの派遣を行う。また、職員の配置に当たっては、児童・生徒の心理的な面を配慮するとともに、地域性を理解した教育の推進が図れるよう、統合前の職員をバランスよく配置する。</p>	<p>教員の負担については、次のように考えています。</p> <p>○より充実した教員配置により校務分掌等を分担することができれば、事務等の仕事を減らすことができる。</p> <p>○学年や各教科の教員が複数いれば、互いに情報交換したり相談したりしながら子どもたちの指導を行うことができる。</p>	
		<p>低学年だと通学距離が遠くなり、防犯面が手薄になるのではないかな。</p>	<p>【通学路の安全確保】 ○通学路の安全マップを作成する。 ○セーフティウォッチ事業及び各種安全ボランティアの活用により、児童・生徒の安全対策を図る。 ○通学路の変更により、特段の安全確保を要する箇所が生じた場合、実情に応じて、学校セーフティウォッチャーや教員に加え、スクールガードアドバイザー等の巡回・見回りを検討する。 ○通学路状況による施設面での安全対策について、関係機関に要望していく。</p>		
		<p>リニューアルの具体的な状況を知りたい。</p> <p>施設のバリアフリー化についてはどのように考えているのか。</p>	<p>【統合に伴う教育環境整備】 ○施設・設備面において、機能的に新設校と同等程度の整備を実施する。 ○大規模改修を基本として・リニューアルを実施する。 ○耐用年数等により、大規模改修では対応できない校舎については、改築を検討する。</p>		
	2 地域との関連	①街づくり	<p>高齢者が増え、地域の住民は、この街をどうしたら活性化できるのかを考えている。市としてはどのように考えているのか。</p> <p>学校は地域とともにあるべきだ。</p> <p>防災・防犯上の問題、跡地利用の問題等を残さないでほしい。教育委員会の範疇を超えるものでも、担当部署と連携して対応してほしい。</p>	<p>【統合による跡施設利用の基本的な考え方】 ○費用対効果を勘案し、有効活用することを原則として検討する。 ○有効活用の検討に当たっては、地元の要望に配慮するとともに、全市的な行政施策との調整を図りながら別途利用計画を策定する。</p>	<p>地域の状況を見据えながら、協議会において、今後十分に協議していただきます。</p>
		②跡地活用	<p>跡地については有効活用するとしているが「費用対効果」とあるので市場原理が働き、売却することになるのではないかな。売却すれば子どもたちが増える可能性もある。見通しを持って検討したい。</p>		
③子どもルーム・特別支援学級		<p>学校が統合された場合の子どもルームの設置はどうなるのか。</p>	<p>【統合に伴う教育環境整備】 ○子どもルームについては、放課後子ども教室との連携を考慮しつつ、既存施設の活用等利用児童の状況や、当該地域の設置状況等を総合的に勘案し検討することとする。 ○特別支援学級や適応指導教室が設置されている学校については、統合後も引き続き活用が図れるようにする。</p>		